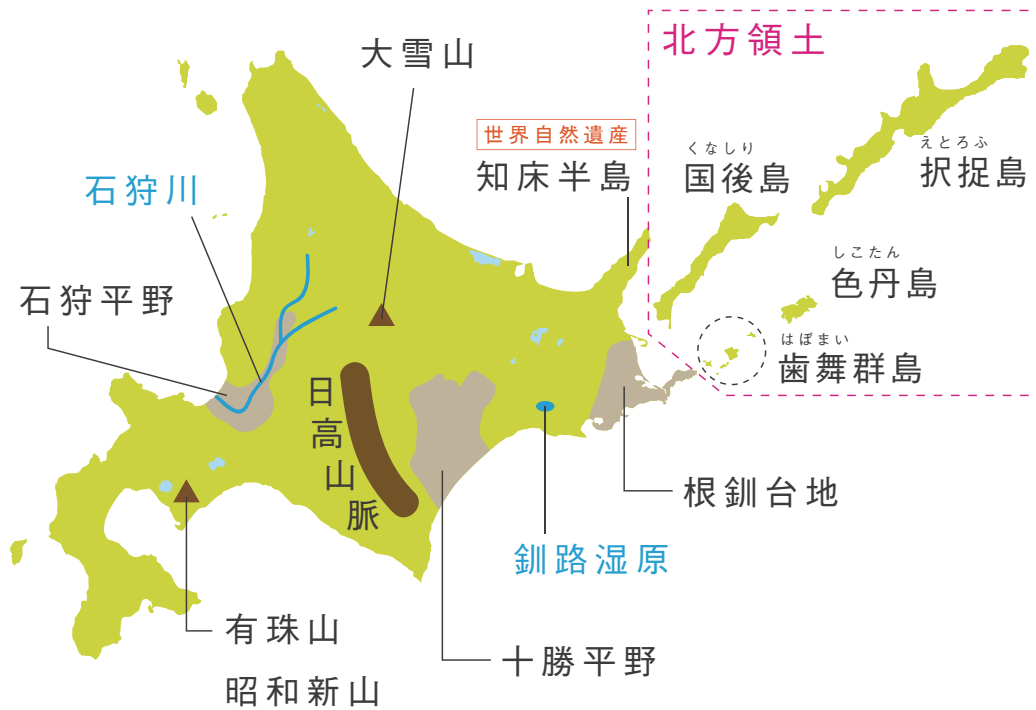


<学習内容>

- ▶自然環境
- ▶農業
- ▶漁業
- ▶北海道の開拓の歴史

自然環境 ①

■地形



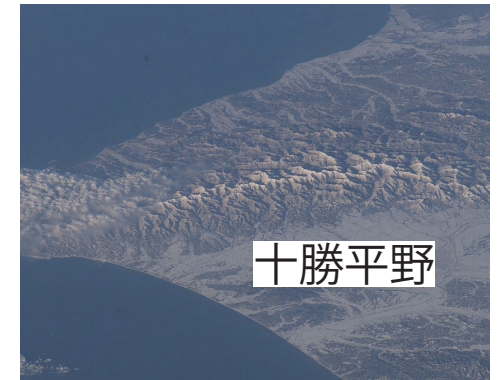
▲知床半島



▲野生の熊（知床半島）



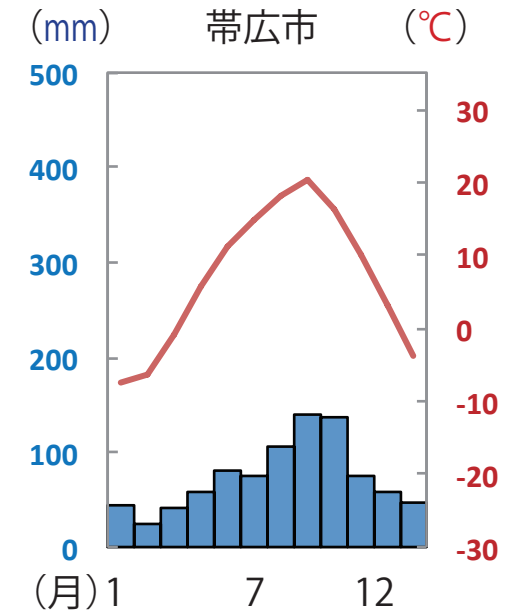
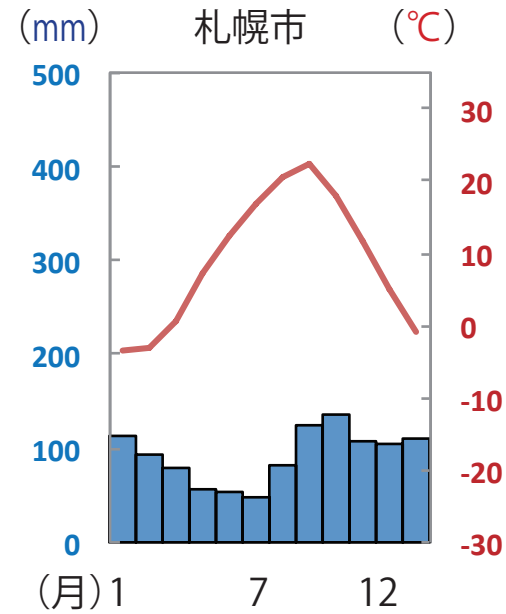
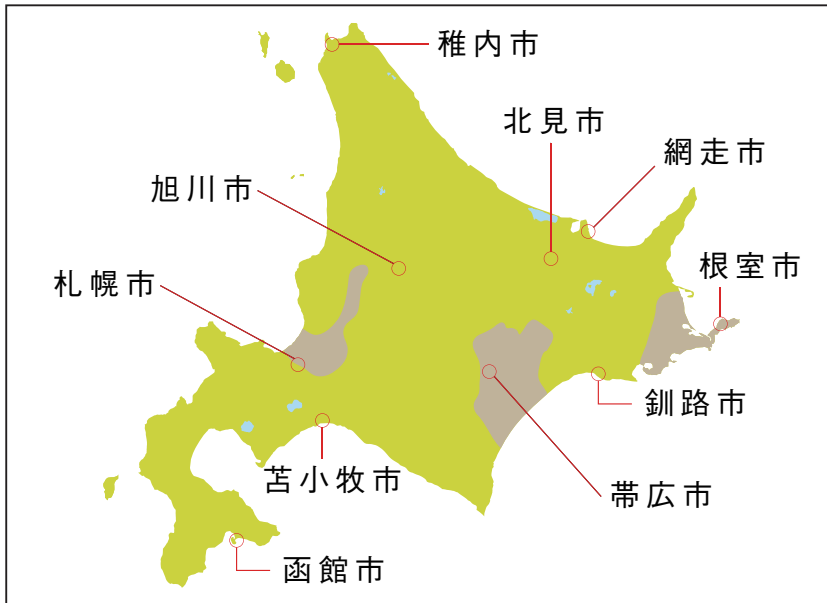
▲網走の流水



▲日高山脈

自然環境 ②

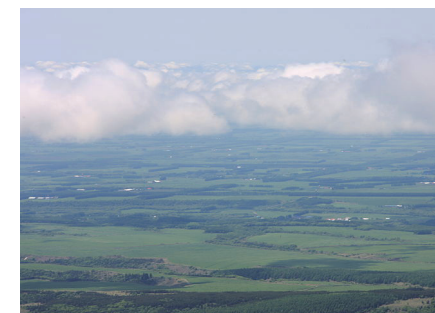
■ 気候



農業 ①

■ 自然を生かした農業

- 石狩平野^{いしかり}…稲作がおこなわれている。
- 十勝平野^{とがち}…畑作がおこなわれている。
- 根釧台地^{こんせん}…酪農がおこなわれている。



農業②

■品種改良

暖かいところで育つ米を品種改良して、寒さに強く短い生育期間で実る米をつくった。

■土地改良

石狩平野には泥炭地でいたんちが広がっていたが、水路を整備し、農業に適した土を他の場所から運びこんで土地を改良した。

※泥炭地…沼地などに枯れた植物がつもった農業に適さない土地のこと。

四択問題

次の①～④の中から北海道について述べたものとして最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 温暖な気候を利用した促成栽培がさかんにおこなわれている。
- ② 一年を通して降水量が少なく，温暖な気候を利用して果樹栽培がさかんである。
- ③ 大消費地である東京に近いので，近郊農業がさかんである。
- ④ 石狩平野では稲作がさかんにおこなわれている。

④

入試問題（平成 27 年度 滋賀県公立高校入試問題・改）

根釧台地で酪農がさかんな理由を、「稲作」「畑作」の二語を使い、根釧台地の気候に着目して答えなさい。

例：根釧台地は気温が低く、稲作や畑作に適さないから。

漁業 ①

■歴史

① 明治時代 日本海沿岸におしよせるにしんをとっていた。

② 昭和時代（前半）

ロシアやアメリカの沿岸で、さけやすけとうだらをとる北洋漁業がさかんになった。

③ 昭和時代（後半）～現在

1970年代以降、排他的経済水域が設置されるようになると、ほたてなどの養殖や栽培漁業がさかんになった。



▲にしん



▲にしん御殿



▲すけとうだら

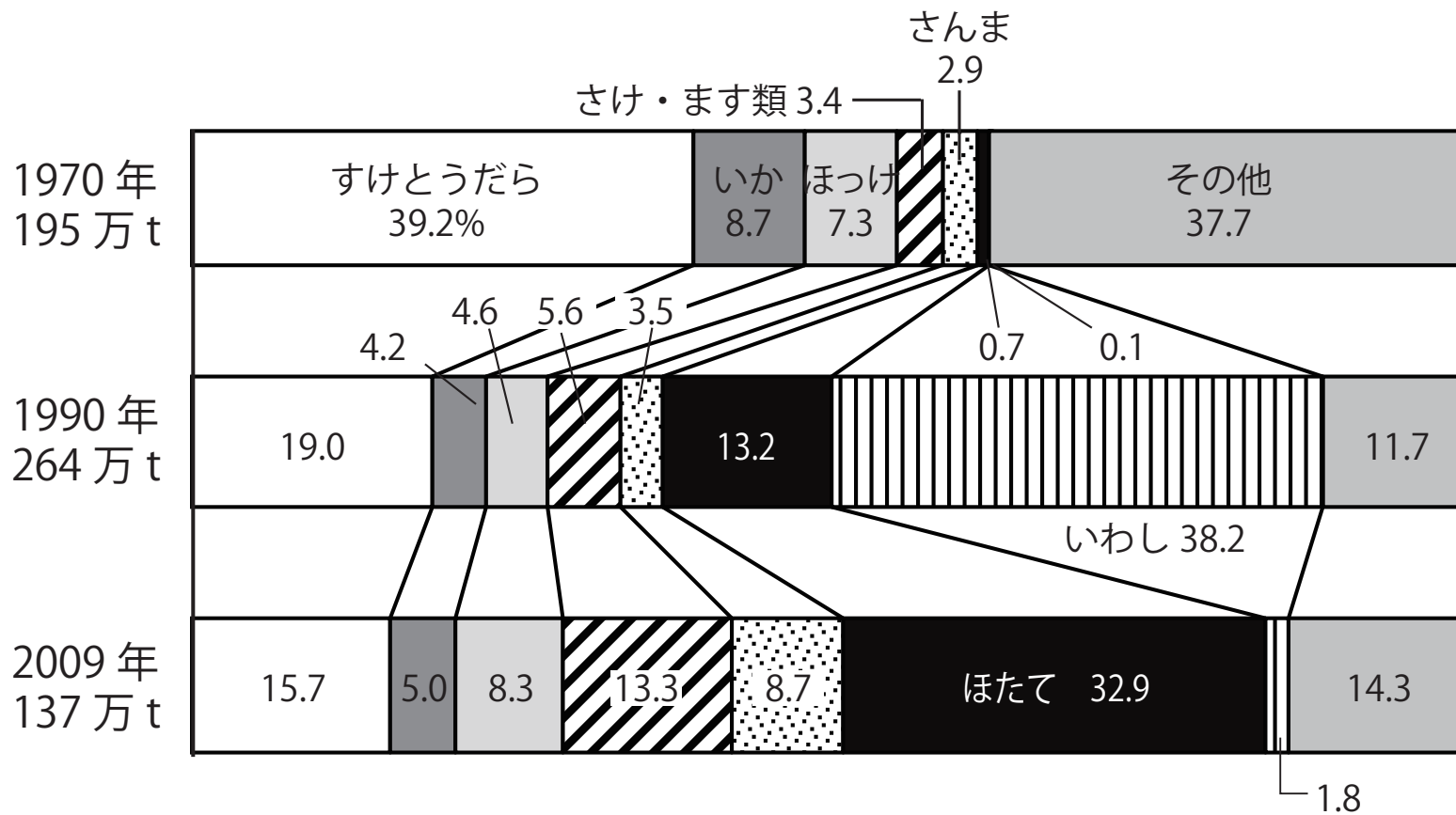


▲すけとうだらの漁



▲養殖

漁業 ②



▲北海道でとれる水産物の種類の変化

四択問題

次の①～④の中から北海道について述べたものとして最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 面積のほとんどがシラス台地におおわれており，畜産や茶の栽培がさかん。
- ② 日本アルプスや富士山があり，山の麓の扇状地では，ぶどうやもも，りんごなどの果樹の栽培がさかんである。
- ③ 年間を通して気温が高く降水量が少ないため，農業用水用のため池がたくさんある。
- ④ 養殖や栽培漁業がさかんである。

④

並べかえ問題

次の①～③は、北海道でさかんにおこなわれてきた漁業の説明である。さかんだった時期が古い順に並べかえなさい

- ① ロシアやアメリカの沿岸で、すけとうだらなどをとる漁業がさかん。
- ② 日本海沿岸におしよせるにしんを取る漁業がさかん。
- ③ 養殖や栽培漁業がさかん。

② → ① → ③

北海道の開拓の歴史

■北海道の先住民族

北海道にはアイヌ民族という先住民族が住んでいた。アイヌの人たちは漁や狩りをして生活をしてきた。

■明治以降の歴史

日本政府は北海道に北海道開拓使を設置し、屯田兵による大規模な開拓をおこなった。



▲アイヌ人



▲アイヌの儀式